

PL

执行指定

次官委任

決議指定



保存期限

房官臣大		課局務主		大臣		件名		受審番		政務大官 回付	
了結	領受	出提	領受	號番	委	政務 次官	小銃購入ノ件	陸軍省 陸支監受第... 陸支監受第...	陸軍省 陸支監受第... 陸支監受第...	決裁前連帶本件(重)	決行(決裁)後 回覽課名
昭和 年	昭和 年	昭和 年	昭和 年	統 號							
昭和 年	昭和 年	昭和 年	昭和 年	統 號	主務 局長	高級 副官	主務 課長	主務 課員	主務 課員	主務 課員	主務 課員
(裁決)行決 覽回後		帶		參與官		書記官		起元應(課)名		銃砲課	
長局		長局		主務副官		審案 筆記者		銃砲課		銃砲課	
長課		長課		主務課員		審案 筆記者		銃砲課		銃砲課	

軍務
鹽

決行（決裁）後
回覽課名

銃
礮
彈

陸軍省
1372
監査課

陸軍省
12 7 19
476
軍用紙

陸軍
13.7.1
軍戰備

3252

1765

櫻川

1191

陸文密 次官ヨリ伊太利大使館附武官へ電報 暗號電報

日滿伊協定成立ニヨリ左記條件ニ基キ伊太利小銃ヲ購入シ度ニ付速ニ
交渉ヲ開始セラレ度

左記

一、購入スヘキ小銃ハ六月十四日附次長次官宛電第二六二號第一項ノ改造

小銃(日本掃蕩子及實包使用)トシ三十年式銃劍ヲ裝着シ得ル如クハ

ニ購入數量ハ一銃四百リットルハ差當リ約十三萬挺(二千萬円)トス

三、取得開始時期ハ伊太利ニ於テ昭和十三年十二月ヨリトシ尙早ク入手シ得

ハ更ニ可ナリ

四、試驗用實包 約六十五萬發送付ノ件差支ナシ

五、本小銃購入ノ用約對外的ニ滿洲國用ノモノト指導ス

ハ
改在
トシテ

ル
ニ
ト

陸文密電 四九二

昭和拾參年七月廿壹日

陸軍省
13. 9. 19
財政課

陸文書

陸軍兵器本廠長へ連

伊太利製改造六五口径銃試驗用トシテ左記ノ通伊
太利駐在帝國大使館附武官ニ交付方取計フヘシ

但シ費用ハ臨時軍事實令連豫算内支辨トス

左記

三十年式銃劍

七拾八萬發

三八式銃實包

掃彈子
飛頭共

銃劍及實包三萬發ハ急送スルモノトス

七拾八萬發

陸支密第三五七三號

昭和三年九月十七日



1614

保存期限
決裁指定
局
決行指定

房官臣大		課局務主		大臣		件名 兵器交付員数変更件	番 陸文第七六〇号 起元廳(課)名 銃砲課	受領 陸文第七六〇号 起元廳(課)名 銃砲課	以務次官 回付 決裁前 連帶 決行(決裁)後 回覽課名		
了結	領受	出提	領受	號番	局長					次官	政務次官
昭和 年 月 日	昭和 年 九月廿一日	昭和 年 三月廿一日	昭和 年 月 日	陸支 三四七	局長					次官	政務次官
(裁決)行決 覽回後		帶			局長					高級 副官	參與官
長局		長局			課長	主務 副官	書記官				
長課		長課			主務課員	主務副官 官房御用掛	筆記者	審案			

陸軍

十三万挺
一發六發あり
偽作の事
サ要スル
七万挺也

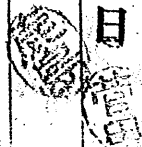
て-カ191

陸支密 副官ヨリ陸軍兵器本廠長へ通牒

九月十七日附陸支密第三五七三號ニ依リ伊太利駐在
帝國大使館附武官ニ交付スル兵器中三八式銃
實包^{機彈子} 七拾八萬發ヲ八拾五萬發ニ變更
セラレニ付依命通牒ス

陸支密第三六五〇號

昭和三年九月廿一日



9757



回決

3.9.30
主計課

陸文密電 次官ヨリ伊太利大使館附武官へ暗號電報

九月四日 東京電返

一 藥莖ハ誤リ無シ 又危險ナシ

二 試驗用寶包ハ一挺ニ付納六發トシ八十五萬發
銃劍 二十ハ 二十七日發 靖國丸ニテ發送ス

三 小銃購買數ハ十三萬挺トシ十八挺七對空炸

裂彈ハ目下ノ處購入ノ意志ナシ

四 契約者ハ貴意見ノ通り大倉組トシ契約要領

ハ貴官ニ於テ假契約シ内地ニテ本契約ヲナス

五 檢査ハ技術駐在官ニテ實施セラレ度、尚解被

十名機助イタメ派遣不特ニ人員ヲ派遣スヘキヤ否ヤ

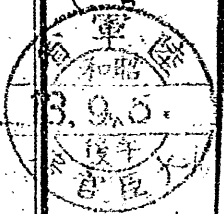
ニ就テハ研究中

六 更ニ約十萬挺購入スルモノトセバ其ノ入午時機ヲ

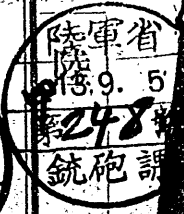
承知致度

昭和七年九月二十七日

支那七六六の六二



櫻川



軍

秘

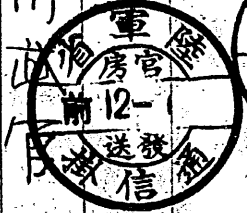
電報譯

九月五日 午前九時一分 著

次

官宛

發信者伊國大使館附



第二三七號

一過般送付セラレシ製作圖及實包六〇弁ニ依リ
 小銃ノ見本ヲ製作シ試射セルニ藥莢起縁部
 近ク膨脹ヲ來タセリ未だ藥莢ニ就キ其ノ部
 外經ヲ實測スルニ一四〇耗之ニ相當スル藥室
 内經ハ圖面上ニ七三プラス〇・〇一乃至〇・〇五トアリ
 其間隙大ニ過クル感アリ誤リヌハ危險ナキ

2160

ヤ石伊國側ノ申出テニ對シ至急御指示アリ度
 尙當方電第ニニ號第一項第一次試験用彈藥
 送付アリシヤ當方其ノ到着ヲ待チアグミアリ
 同第六七項ニ就テモ同様ナリ

ニ目下伊國側ハ支拂問題（當方十割物々交換
 ヲ申出アリ）ニテ關係各省商議中ノ力爲同
 答遲延シアリ

（終）

1916

常務

支那第七三三號

秘電報

第二二二號

次官宛

伊國大使館附武官

支電

陸密第四九二號指令ノ小銃ニ関シヲトビア

武官ト折衝中ノ所取敢ヘス急ヲ要スルモ

左記報告ス

一、自信アル改造銃ヲ得ル為試験用トシテ普



昭和一三八二



并送二
 以制廿
 此市面

通彈三萬并至急輸送アリ度(伊國側申出)

右試験用彈藥受領後六ヶ月目ヨリ納入

(月二萬)ヲ開始シ得

△長俣砲隊士官ハ

是也

三、價格ハ一挺ニ就キ約十リラ低下シ得ル見込

四、右剩餘金ニテ十八耗七對空炸裂彈購入

方考慮アリ度

五、検査用彈藥ハ一挺ニ就キ六并トス伊國ハ

二并ヲ彈裝藥ニテ實施ス、日本ニテモ検査

用特種彈藥ヲ使用シアラハ之ヲ混セラレ度
 六契約担任者ハ多量ヲ望マルルヤ若シ商人
 ヲシテ行ハシムルナラハ從來調査ノ關係上并
 送其ノ他商行為ニ関シ大倉組ニ下請セシメ
 度意見、契約要領ニ関スル貴方ノ原案
 至急承知シ度

派シ反レシ
 七、受領検査等ニ関シ特ニ人ヲ派スルヤ承知シ度
 八、右航本等ニモ通報アリ度

(終)